

科目名 (科目番号)	医動物学 (102171)	教員名 安倍 正史	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		—	非常勤講師	
授業概要	寄生虫は感染性病原体の中で、宿主と同じ真核生物であり、一部は多細胞動物である点で細菌やウイルスと大きな違いがある。複雑な寄生適応現象や生活史、ヒトの社会行動などが背景に成立する感染症であり、公衆衛生学的にもユニークな位置づけにある。最近の食生活の変化やペットなど動物との接触の濃密化に伴って寄生虫病も多様化し、増加している。この講義ではそのようなヒトの内部および外部寄生虫の病害を教授し、その診断に必要な知識と技術を涵養する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医動物学の概要	到達目標: 医動物学の学習領域、寄生と共生及び寄生虫と宿主関係等について、片利共生、相利共生、固有宿主や中間宿主といった医学用語を使って説明できること。 学習内容: 医動物学の学習領域について理解し、寄生と共生、寄生虫と宿主の相互関係、寄生虫感染の免疫反応等について学習する。				
	2	寄生虫症	到達目標: 寄生虫症、寄生虫の感染経路や宿主との相互関係について、医動物学、経口感染、経皮感染、幼虫移行症などの医学専門用語を駆使して総括的に説明できること。 学習内容: 寄生虫症について、総論的に理解し、寄生虫の感染経路や寄生虫感染の免疫応答等につき、総合的に学習する。				
	3	原虫類	到達目標: アメーバ類、鞭虫類、寄生孢子虫類原虫の違いについて理解し、赤痢アメーバ、マラリア原虫などの原虫の生活史、感染経路や病原性について説明できるようにすること。 学習内容: 人体寄生の原虫類について、形態、分類を総論的に学び、さらに、腸管内寄生原虫類、腸管内寄生鞭虫類、寄生孢子虫類、血液組織寄生原虫類等の各原虫について具体的に学習する。				
	4	吸虫類	到達目標: 吸虫類の形態やヒトへの感染型について理解し、横川吸虫、肝吸虫、肺吸虫、住血吸虫などの吸虫について、その生活史、感染経路や病原性について説明できること。 学習内容: 人体寄生の吸虫類について、形態、生活史などを総論的に学び、住血吸虫類、肝吸虫類等の各吸虫について具体的に学習する。				
	5	条虫類	到達目標: 条虫類の形態的特徴や擬葉目と円葉目の違いを理解し、日本海裂頭条虫、無鉤条虫、多包条虫などの各条虫について、それらの生活史、感染経路やヒトでの病態について具体的に説明できること。 学習内容: 人体寄生の条虫類について、形態、生活史などを総論的に学び、擬葉目類、円葉目類の各条虫について具体的に学習する。				
	6	線虫類	到達目標: 線虫類の形態的特徴、ヒトへの感染経路や感染型の違いについて理解し、回虫、蟯虫、広東住血線虫などの各線虫について、その生活史、感染経路や病原性について説明できること。 学習内容: 人体寄生の線虫類について、形態、生活史などを総論的に学び、回虫類、蟯虫類、糸状虫類などの各線虫について具体的に学習する。				
	7	衛生動物	到達目標: 節足動物(蚊、ハエ、ダニなど)の媒介する病気や病原体について理解し、蚊、ハエ、ダニ、ツツガムシ、ノミ、シラミなどの衛生動物の生活史、感染経路や病態について説明できること。 学習内容: 人体寄生の衛生動物について、形態、生活史などを学び、医学関連節足動物を中心として、ダニ類や昆虫類の各衛生動物について具体的に学習する。				
	8	臨床検査法	到達目標: 検査物内に含まれるかもしれない寄生虫について、最適な検査法を選択する方法を理解し、マラリア原虫、赤痢アメーバ、クリプトスポリジウム、蟯虫などの寄生虫の検出法及び虫卵や幼虫の鑑別法について具体的に説明できること。 学習内容: 寄生虫症の診断に有効な、寄生虫体、虫卵、幼虫などの検出法を学び、検査材料の採取、保存法、原虫類や蠕虫などの鑑別や検出法について具体的に学習する。				
成績評価の方法・基準	プレテスト (20%) + 期末試験 (60%) + ミニテスト (20%)						
教科書	最新臨床検査学講座 医動物学	平山謙二	医菌薬出版株式会社 (ISBN:978-4-263-22359-8)				
参考図書	図説人体寄生虫学 改訂9版	吉田幸雄・有菌芳樹	南山堂				
教員からのメッセージ	臨床検査技師国家試験を受験するものは必ず受講すること。なほ、各論の各講義の終わりには、簡単なミニテストをするので、指定教科書の各論の項目に相当する部分を予習して講義に臨むこと。また、寄生虫症と臨床検査法のまとめとして、集中講義終盤に小テスト(プレテスト、30分程度)を行う。期末試験及び実習テストは、また全体として別に行う。なほ、日本では、これから、東京オリンピック等の国際イベントにより、外国からの輸入感染症や感染食材の増加が懸念される。メディア等を通じて、寄生虫関連の情報も入手しておくこと。						